

ご使用に際しては、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

漢方製剤 薬王芍薬甘草湯

こむらがえり・筋肉のけいれん・足がつる方に

■製品の特徴

- 漢方処方「芍薬甘草湯」は、筋肉の痛み・こわばりをしっかり鎮め、つらい足のつり、こむらがえりを治すお薬です。
- 急激に起こる筋肉のけいれんを伴う痛み、腹痛、腰痛などにも効果があり、漢方の鎮痛剤といわれています。
- 就寝時だけでなく、ウォーキングやランニングなどでアクティブに過ごす時にもおすすめです。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
 - (1)次の診断を受けた人 心臓病
2. 症状があるときのみ服用にとどめ、連用しないでください



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
 - (1)医師の治療を受けている人
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3)高齢者
 - (4)次の症状のある人 むくみ
 - (5)次の診断を受けた人 高血圧、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
うっ血性心不全、心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

■ 効能・効果

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：

こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

■ 用法・用量

次の量を、1日2回食前又は食間に服用すること。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15歳以上）	1 包	2 回
7 歳以上15歳未満	2 / 3 包	
4 歳以上 7 歳未満	1 / 2 包	
2 歳以上 4 歳未満	1 / 3 包	
2 歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を守ってください。
 - (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 食間とは「食事と食事の間」を意味し、食後約2～3時間のことを指します。

■ 成分・分量（成人の1日量2包(3g)中）

芍薬甘草湯エキス（1 / 2量）……………1.2g

[シヤクヤク・カンゾウ各3.0gより抽出]

添加物として、乳糖水和物、ステアリン酸Mgを含有する。

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤は天然物（生薬）のエキスをを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

■ 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4)1包を分割した残りは袋の切り口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願いいたします。

薬王製薬株式会社「お客様相談室」

電 話：0744-33-8855

受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売元

薬王製薬株式会社

奈良県磯城郡田原本町245番地